

2026 年 10 月 5 日
西日本旅客鉄道株式会社

JR 東西線 線路トラブルの原因と対策について

2026 年 4 月 25 日に、JR 東西線尼崎駅～加島駅間で発生させた線路トラブルについて、その原因と対策をお知らせします。ご利用のお客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

1 発生日時

2026 年 4 月 25 日（土） 18 時 50 分頃

2 場 所

JR 東西線 尼崎駅 ～ 加島駅間

3 列 車 名

上り快速列車 宝塚（18：26）発 同志社前（19：48）行 乗客数：約 200 名

4 概 況

18 時 50 分頃、当該電車の運転士は、尼崎～加島駅間を走行中、通常と異なる音を認め、停車しました。車両及び線路の確認を行っていましたが、当該電車の車両の確認が完了し、運転に支障がないことが確認できたため、19 時 52 分に当該電車のみ運転を再開しました。線路の確認を行っているため、JR 東西線では尼崎～京橋駅間で運転を見合わせていましたが、現地の確認が完了し、運転に支障がないことが確認できたため、21 時 32 分に通常速度で運転を再開しました。

5 列車影響

<運 休> 計 52 本（上り 29 本 下り 23 本）

<遅 れ> 上り快速電車[篠山口（19：44）発 同志社前（21：53）行]が 60 分遅れたのを最大に、計 53 本（上り 27 本、下り 26 本）に遅れ

<影響人員> 約 36,000 人

6 原 因

列車振動により部材を固定していたネジが外れたためです。

7 対 策

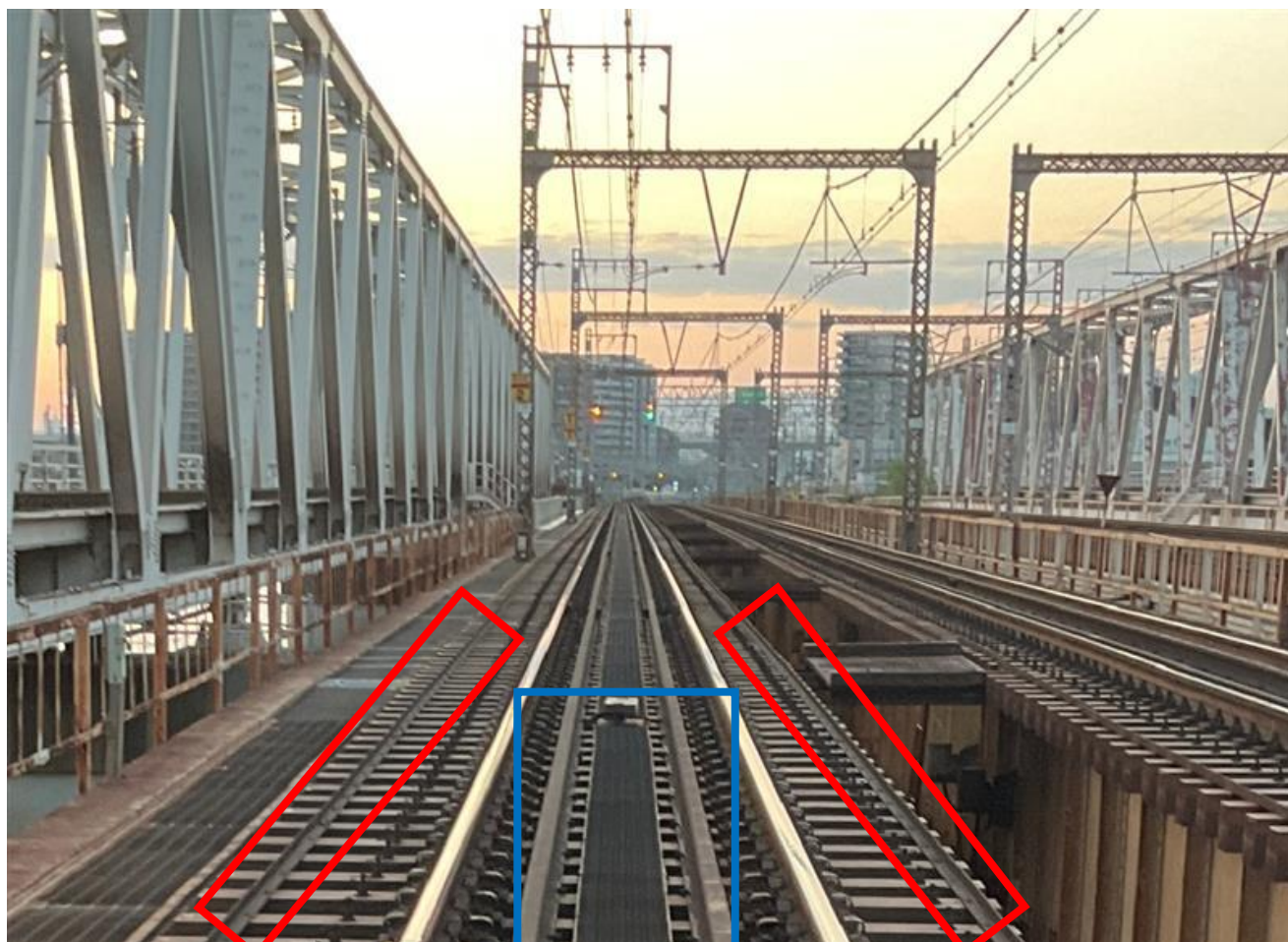
本事象で外れた当該橋りょう（JR 東西線の上り線）の部材を撤去します。

※部材は枕木の前後間隔を一定に保つために補助的に設置しています。

※今回、部材の撤去後も、枕木の間隔を保持できる仕組みとして枕木と一体化している脱線防止ガードを強化します。

※対策完了は 10 月末の見込みです。

【ＪＲ東西線 尼崎～加島駅間 下神崎川橋梁上の画像 ※通常時】



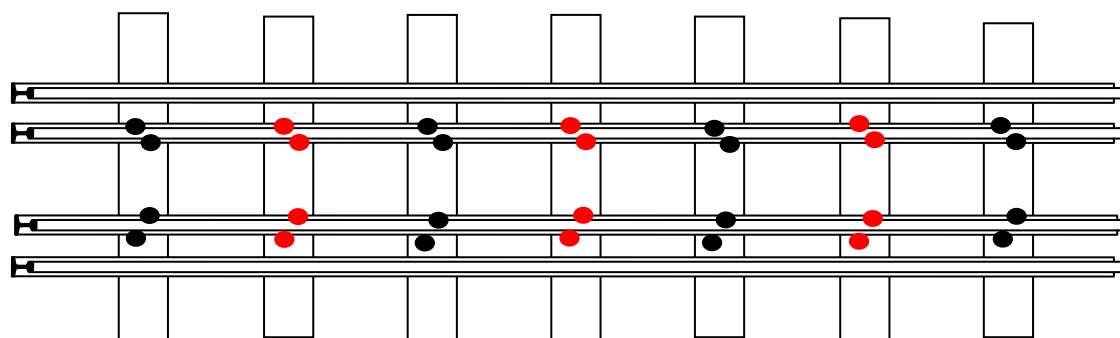
今回撤去する部材

脱線防止ガード

今回撤去する部材

【脱線防止ガードの強化】

- 既存締結
- 追加締結（今回強化）



以 上